

第2号様式（第12条関係）

令和3年度第3回大和市街づくり推進会議 会議要旨

- 1 日時 令和4年1月28日（金） 10時00分から11時55分まで
- 2 場所 大和市市民交流拠点 ポラリス 大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター Room3
- 3 出席者 9名
- 4 傍聴人数 0名
- 5 議題
  - ・第21回大和市街づくり賞について
- 6 報告
  - ・地区街づくり準備会の登録について
- 7 その他

会議資料

① 次第

- |   |       |                    |
|---|-------|--------------------|
| ② | 資料1-1 | 第21回大和市街づくり賞について   |
| ③ | 資料1-2 | 街づくり賞リーフレットについて    |
| ④ | 資料1-3 | 第21回大和市街づくり賞リーフレット |
| ⑤ | 資料1-4 | 大和市街づくり賞選定基準       |
| ⑥ | 資料1-5 | 街づくり賞評価シート（案）      |
| ⑦ | 資料2-1 | 地区街づくり準備会の登録について   |
| ⑧ | 資料2-2 | 市内地図               |
| ⑨ | 資料2-3 | つきみ野詳細図            |
| ⑩ | 資料2-4 | つきみ野街づくり構想         |
| ⑪ | 資料2-5 | つきみ野景観づくりの方針       |
| ⑫ | 資料2-6 | つきみ野景観まちづくりガイド（抜粋） |

■令和3年度 第3回 大和市街づくり推進会議 会議録■

- [会議名称] 令和3年度 第3回 大和市街づくり推進会議  
[開催日時] 令和4年1月28日(金) 10時00分から11時55分  
[開催場所] 大和市民交流拠点 ポラリス 大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター Room3  
[出席委員] 9名(欠席:2名)  
[現地出席] ホーテス シュテファン/江村 郁子/大峰 英一/山田 俊明  
[Web出席] 黒石 いずみ/杉崎 和久/三浦 由理/河村 奨/星野 澄佳  
[欠席] 須賀 良二/平田 章  
[事務局] 5名(街づくり推進課長、街づくり推進係4名)  
[担当課] 街づくり施設部 街づくり推進課 TEL.046-260-5483  
[傍聴者] 0名  
[公開の状況] 公開

---

## I. 会議次第

---

1. 開会
2. 議題
  - ・第21回大和市街づくり賞について
3. 報告
  - ・地区街づくり準備会の登録について
4. 閉会

## II. 内容

---

### 1. 開会

### 2. 議題

- ・第21回大和市街づくり賞について  
事務局より、「第21回大和市街づくり賞について」を説明。  
質疑応答(○…委員 ▼…市)

---

○書類選定用シートと評価シートについて第20回の評価をした経験から、現地調査の際に感じた印象などから総合的にその場で評価をしたい。会議室に戻ってきてから検討すると曖昧になってしまうため、第20回の時に使用した評価表であれば現地で点数を付けることができ、メモを記入できるようになっ

ていて使いやすかった。書類選定用シートを現地調査で使用し、評価シートを会議室に戻ってきてから使用するのか。

▼書類選定用シートは現地調査に行くものを選定する際に使用し、評価シートは現地調査時に現地で書き込んでいただくほか最終選定にも使用いただく。評価シートには事務局で応募事例の写真を添付し、現地調査から戻った際に現地のイメージがしやすいようにする想定である。

○承知した。

○評価シートの評価基準に「人のつながりが感じられる場」「新しい時代の中でも持続可能な場」「多様性を感じる場」の3点が書かれているが、この3点はそのまま記載されるのか。この3点は主観的な表現になっているので、もう少し委員のバイアスを排除する言葉を考えた方がよいのではないか。

○評価軸に関することだが、第20回の際にも議論になり、軸を挙げたが使いきれなかった。第20回の例だと、スケッチ画単彩と個人宅入口のデコレーションをある評価軸で見たときにうまく比較・区別ができなかった。あまり評価軸に関しては細かく分けられない方がよいのではないか。

○評価軸に関係して、居場所の話をするときにそこを運営している母体のマネジメントの努力とか持続している組織の情報をいただいてそれを考慮して市民の努力として評価するのは必要なのではないか。現地の方、当事者の方とお会いして様子を見ないとわからないところもあるのではないか。訪問調査のやり方に工夫が必要と考える。

○少なくともテーマが「居場所」なので、車で回って外から見て評価するわけにはいかず、そうなったときに10件回れるのかということも考える必要があるということと思う。組織の体制などは事前に聞けるかもしれないが、委員が中に入って運営している人との話を聞かないと評価できないのであればやり方が変わってくる。評価の指標を細かく分けバランスを取ることを考える必要もある。

○応募用紙について、連絡先はあるがSNSアカウントがない。居場所としてオンラインの活動などは見えるものではないため、追加の指標として、SNSやオンラインでアピールする場を持っているのであればどこかに記載できるようにする必要があるのではないか。

○情報として枠があると情報が追加されるため、枠を作っておくとよいという提案と思う。

○応募用紙について、電子申請とあるが意図はあるか。意図がないのであればない方がいいのではないか。応募しなくなる人が一定数出てしまうと思われる。マイナンバーカードがないと応募できないと感じてしまう。

▼電子申請については、ユーザー登録不要で使用できるものであり、街づくり賞の応募についてはマイナンバーカードを使用した電子署名は不要としている。

○応募する側からするとこういったイベントで電子申請というあまり馴染みがないので不安を感じるのではないか。「写真の権利が大和市に帰属する」という点についても、応募者のハードルを上げてしまうので表現を変えられないか。

○写真については事務局が撮りにいくということでもよいのでは。

○電子申請については、Web応募・郵送応募どちらでも可とされており、必ずしも電子申請でなければという意味ではないのではないか。

○実際にご応募される方は、お時間に余裕のある方が多いので、今のご意見を考えて、郵送・窓口・Webどれでも応募できるということがわかるようにしておいて、それがわかるレイアウト案もあるのでは。

○複数の応募手法があることを強調していただきたいということだろう。では、評価の観点についてはい

かがか。

- 私も感覚的にはもう少し具体的な評価軸があれば実際に選定を行う際に役に立つのではないかと思う。第20回審査の際のご指摘があった通り、あまりに細分化しすぎても逆に難しくなる。最適な評価軸の数や定量的に把握する点を今の3つの観点からは細分化できればよいのではないか。募集する際に応募する方が応募する事例についてある程度定量的に、例えば何人集まっているかなど記載できるようにすれば評価しやすくなるのではないか。また、それぞれの空間が持っている多様性も評価基準にするのがよいのではないか。一つの視野だけでなく複数の視野を持っている事例を評価するような軸がよいのではないか。
- こういったイベントでは、事前にこういった点を評価するかを応募用紙に明示し、書類審査を行う際に応募用紙に記載した評価基準と連動するようになっていないと書類審査が難しいのではないか。
- 審査する側がSDGsの17の指標を評価基準にしていくというのはいかがか。評価シートは公開されるのか。
- ▼評価シートに記入いただいたものをそのまま公開はせず、事務局にてまとめたものを委員の皆様にご確認いただいた後に公開している。
- 委員側としてはいくつか指標があるとありがたい。応募する方が選定の視点のどこに当てはまると考えて応募されているかが応募用紙に記載できるようなかたちになっているとよいのでは。
- 選定の視点の3つのポイントが評価軸に挙がっているが、基本的には変えず、これからの議論で評価軸を増やすことになるのであれば、審査の際に使用し、リーフレットの記載はこのままでもよいのでは。
- 評価シートだけで絞り込むために評価軸を入れておく必要があるのではないか。
- 応募された件数の状況を見ながら、最終的にどのように絞り込むかという議論があってもよいのではないか。
- 出てきたものを見て評価軸を決めるのは理想的ではないため、可能な限り本日議論したい。報告事項となっている事項については、次回の推進会議でもよいか。
- ▼次回の推進会議でもよい。
- では、本日は街づくり賞についての議論のみ行うこととする。
- 評価の方法と選考の視点の問題が出たが、選考の視点を4つに増やしてまとめるというのはいかがか。
- こういった項目を審査するとき重視しているということが共有できればと思う。
- 先ほどSDGsについて明記する案が出たが、その点についてはいかがか。
- 4つ目の視点としてSDGsを入れることで、いろんな評価視点を汲めるのではないか。リーフレット入稿までの時間がないのであればSDGsを基準とするようなことを入れ込むとよいのではないか。
- SDGsをどのようにとらえるかは人それぞれ多様な面がある。「持続可能」という表現は選定の視点に含まれているため、わざわざ4番目として出さなくてもよいのではないか。
- まず、現在の3つの選定の視点でSDGsを包含しているかという点を考える必要もある。
- 大和市民のSDGsへの関心は非常に高いと思われる。
- SDGsを入れるとすると「新しい時代の中でも持続可能な場」の書き方を変えるかどうかを考える必要もあるだろう。

- 評価する際に特記したい魅力を別の言葉で記載できる部分があってもよいのでは。選定の視点は客観的なようであり主観的な部分があるため、抜け落ちていくところを拾っていけるような評価シートがよいのではないかと。
- 応募用紙にはアピールポイントがあり、我々の評価シートにも想定していなかった魅力を補記できる必要はあると思う。
- 評価基準の観点で、ある程度定量的に評価できるものを積極的に募集する方がよいかということについて確認したい。「何人くらい集まるのか」「大和市のどの地域の方が参加されるのか」などを募集する意味があるのかも伺いたい。
- 「居場所」は来る人の人数や効果の客観的な大小だけではない要素が重要で、数量を比較する議論はふさわしくないテーマではないかと。
- 誰でもアクセスしやすいという居場所、特定の人にとって安心・安全である居場所の両方があると思われ、多いからいいという話ではないと思う。
- 活動期間や一月当たりの開催回数、どういう人たちにPRしているかなど、誰が聞いても同じ理解ができる点は含めておいた方が主観的な判断だけではないと言えるのではないかと。
- 応募用紙の表現に活動の概要を追加してもよいと思われる。
- 応募者に負担をかけず、事務局が補足的な基本情報を押さえるということでもよいと考える。
- 応募用紙と評価シートの間はどう情報を加えるかという進め方の話である。選定の視点に4つ目を追加する点についてはいかがかと。
- どこかにSDGsを明記するのがよいと考える。
- 虹色のマークを見てなんだろうと思われる方もいらっしゃるだろう。選考の視点の2つ目にSDGsを明記し、マークも入れるのがよいのでは。また、応募用紙で「わたしの居場所」とあるが「居場所を提供している方」が書きづらいと思われる。
- 事務局としては、空間を利用する側・提供する側どちらからの応募も想定しているが、応募する側からわかりづらくなっているかもしれない。リーフレット内でSDGsを説明し切るのは難しい点もあるだろう。
- もう一度各委員から意見をもらって、事務局がリーフレットに落とし込むことはできないかと。
- 2月1日の広報誌に掲載されるとのことであるため、本日の会議で意見をいただきたい。
- 選定の視点の上のところに「SDGsの視点が盛り込まれていることが望ましい」などと書いておくのがよいのでは。
- SDGsの何番に貢献しているという自己申告もあろうかと思う。
- SDGsの項目は17個あるが、そのどれに当てはめるかということより、街づくり賞で選んだものが10年、20年経っても色あせていないという意味合いの2つ目の視点ではないかと。事務局で受賞事例一覧を作っているが、今でもこれらが残っているかということがポイントではないかと。SDGsのどれに当てはめるというのではなく、18番目の街づくり賞という考えである。2つ目の視点は、街づくり賞としての持続可能性という意味だろう。
- SDGsについては少し記載されている程度でよいのでは。

- 「SDGsを考慮して」という一文を載せることにより、意識していることがわかるのでは。また、4つ目の視点として「今必要とされるユニークな視点」など別の視点が入る可能性を残しておくことも考えられる。
- 全体としてSDGsを意識していることを表現するという方向性とする。どのように評価していくかは次回の会議でさらに議論していきたい。リーフレットにSDGsを明記する箇所などについて意見をいただきたい。
- 募集要項下の文章中に含めてはどうか。選定の視点としてもSDGsをある程度意識したもの、どの項目でも入れられるような4つ目の視点を記載するという手法でいかがか。
- 各委員異議はないようだが、事務局はいかがか。
- ▼その手法で問題ない。
- リーフレットについては、本日の意見を踏まえ、事務局で修正したものを各委員に提供いただきたい。
- ▼承知した。
- 他薦はどこまで可能か。
- ▼活動への参加・不参加等を問わず、どなたでも応募可能である。
- 募集はどこにかけていくものか。特定の中学校に全員回答してほしいという依頼をすることも可能なテーマだと考える。
- ▼リーフレットは市内公共施設に配架する。その他、広報やまとへの掲載、大和市イベントキャラクターヤマトンのツイッターで発信を考えている。
- 中学校や普段市内で活動している人にアプローチすると今までよりも反応があるかもしれないという提案である。
- ▼街づくり学校実施時のアナウンスも検討している。
- 広報手法は今まで以上に工夫してほしい。
- 外国籍の方への周知方法はいかがか。
- ▼大和市国際化協会にリーフレットの配架依頼を検討している。
- リーフレットを置いてもらうだけでなく、外国籍の方に紹介してもらうなどの工夫をお願いしたい。
- 街づくり賞は場所に対してのものとするが、同じ場所を複数人が推薦した場合、どのような取り扱いになるのか。
- 募集数が多かったものではなく、その場所で行われているそれぞれの活動を評価することになる。場所と活動、両方を評価することになる。
- 今までは市民が作った場所が対象だったが、公共施設で行われている活動の応募があることが考えられるが、そのような場合は、そこで行われている活動を評価するという認識でよいか。
- ▼よい。

### 3. 報告

- ・地区街づくり準備会の登録について  
時間の都合により、事務局より概略を説明し、次回の推進会議に持ち越し。

### 4. 閉会